

Cardano ガバナンス用語集:

アクティブな投票ステーク:

アクティブな委任代表者 (DRep) に委任された ADA の合計額。

投票することを棄権する **vs.** 棄権することを投票する (**Abstaining to Vote vs. Vote to Abstain**):

明示的に棄権する投票は、投票を棄権することとは異なります。投票しなかった未登録のステークは「棄権」票のように動作し、投票しなかった登録済みのステークは「反対」票のように動作します。

ガバナンスパラメータ:

ガバナンス プロトコル パラメータ グループのすべてのパラメータを含む、オンチェーン ガバナンス モデルの設定。

CIP-1694:

Cardano の将来のオンチェーン ガバナンス モデルを概説する Cardano 改善提案。

Chang ハードフォーク:

CIP-1694 で説明されているオンチェーン ガバナンス モデルを導入する特定の Cardano ハードフォークは、2024 年夏に予定されています。

委任代表者 (DRep):

CIP-1694 に基づいて Voltaire 期に導入された新しい役割。DReps はガバナンスアクションに関する投票を行う責任があります。彼らの投票権は、彼らに委任された ADA に比例します。

ステークプールオペレーター (SPO):

ブロックの生成とネットワーク運用の維持を担当するエンティティ。SPO は、特定のガバナンスアクションについても投票します。

憲法委員会 (CC):

ガバナンスアクションの合憲性を決定し、Cardano 憲法に準拠していることを確認する役割を担うグループ。

投票しきい値:

ガバナンスアクションを可決するために必要な賛成票の特定の割合。

Lovelace:

Cardano のネイティブ暗号通貨である ADA の最小単位で、1 ADA の 100 万分の 1 に相当します (1 ADA = 1 000 000 Lovelace)。

エポック:

Cardano の時間単位。432,000 スロットで構成され、各スロットは 1 秒間続きます。1 エポックは約 5 日間です。

エポック境界:

1 つのエポックが次のエポックに移行する瞬間。

ガバナンスアクション (GA):

特定の制定期限を持つトランザクションによってトリガーされるオンチェーン イベント。ガバナンスアクションには 7 種類があり、ADA 保有者はいずれか 1 つを提出できます。

ガバナンスアクションのデポジット額:

オンチェーンでガバナンスアクションを送信するために必要なADAのデポジット額。デポジット金は、すべての種類のガバナンス アクションで同じです。

ガバナンスアクションの承認:

ガバナンス アクションが、定義されたしきい値を超えるのに十分な賛成票を集めたときに発生します。ガバナンスアクションは、エポック境界でのみ承認がチェックされます。

ガバナンスアクションの有効期限:

ガバナンス アクションが期限までに承認されなかった場合。期限は、「ガバナンス アクションの有効期間」と呼ばれるガバナンス パラメータとして定義されます。これはエポック単位で定義されます。

ガバナンスアクションの制定:

承認が成功した後、1 エポックでガバナンス アクションが自動的に制定されます。

ハードフォーク:

ブロックチェーン プロトコルに対する大幅なアップデートであり、下位互換性はありません。

不信任動議:

承認されると、憲法委員会の状態が不信任に変更され、新たなCCの任命が必要となるガバナンスアクションの一種。

プロトコルパラメータ:

Cardano ブロックチェーンのさまざまな運用面を定義する設定可能な値。現在の値と更新履歴については、[Cardano プロトコルのパラメータ](#) をご確認ください。

トレジャリー引き出しリクエスト:

すべてのADA 保有者がトレジャリー引き出しをリクエストできるようにするガバナンス アクション。承認されると、トレジャリーは指定された金額を支払います。

Voltaire期:

さらなる分散化とオンチェーン ガバナンスの改善に重点を置いた、Cardano の初期 [ロードマップ](#) の最終フェーズ。

Cardano 改善提案 (CIP):

Cardano コミュニティに情報を提供し、Cardano の新しい機能やプロセスを説明する文書。

Cardano-cli:

Cardano ブロックチェーンと対話するためのコマンドライン インターフェイス ツール。

Intersect:

Cardano の将来の発展を促進するために設立されたMember-Based Organisation (MBO)の1つ。

Member-Based Organisation (MBO):

Cardano の開発のためのさまざまな利害関係者、投資、リソースを調整する組織。

MIR 証明書:

Cardano の現在のガバナンス モデルで使用されている Instantaneous Rewards 証明書を移動させます。

メタデータ:

DRep メタデータ、ガバナンス アクション メタデータ、投票メタデータなど、追加のコンテキストを提供するためにオンチェーンに送信されたオフチェーンの追加データ。

SanchoNet:

CIP-1694 に準拠した、Cardano のガバナンス機能を展開するためのテストネットです。

SanchoNet は、ユーザーが Cardano のガバナンス システムについて学習するための教育リソースを提供し、コミュニティの参加を奨励しています。詳細については、[SanchoNet](#) をご覧ください。

憲法用語集:

暫定憲法 (Interim constitution):

ハードフォークから最終憲法が承認されるまで有効です。意図的に最小限に抑えられており、CIP-1694 の原則を反映しています。

憲法草案 (Draft constitution):

憲法ワークショップで検討および議論するための出発点となるテキスト。暫定憲法 (Interim constitution) の欠落部分を埋めることで、長期にわたる憲法に必要なすべての条項が含まれています。

憲法案 (Proposed constitution):

以前は「最終憲法 (final constitution)」とも呼ばれていました。憲法ワークショップでのコミュニティ協議の結果です。代表者によって投票され、オンチェーンで ADA 保有者の投票にかけられます。

正式に承認された憲法 (Ratified Constitution)

暫定憲法 (interim constitution) に代わるオンチェーン憲法

Cardano 憲法

Cardano のガバナンスの基本原則とルール。Cardano 憲法は、Cardano ブロックチェーン上でいつでも有効なあらゆる憲法を指す一般的な用語です。

協議期間

2024 年に行われる憲法草案作成とコミュニティ協議期間を総称して指します。

憲法ワークショップ

憲法草案を検討するための約 50 回の一連のワークショップ。これらは選ばれたコミュニティメンバーによってホストされ、地理的に分散して開催されます。各ワークショップでは、憲法案を承認するために大会に出席する責任を負う代議員と代理人を選出します。

憲法代議員

グローバル憲法ワークショップで、憲法制定会議に出席するCardanoコミュニティの代表に選出されました。憲法に関する事項のみに関心があります。

憲法制定会議

代議員が出席する複数日にわたるイベントで、憲法草案内の未解決の問題を1代議員1票の投票で承認するための最終決定を下すことを目標としています。この憲法案(Proposed Constitution)はオンチェーン載り、ADA保有者が投票できるようになります。